

2021年7月1日

各 位

日新商事株式会社

人工光型自動化植物工場『テクノファーム成田』の操業開始について

当社（社長：筒井 博昭）およびENEOS株式会社（社長：大田 勝幸）100%子会社であるENEOSテクノマテリアル株式会社（社長：浅田 清史、以下、「ENEOSテクノマテリアル」）が出資するJリーフ株式会社（社長：上原 淳、以下、「Jリーフ」）は、6月30日に国内最大規模の人工光型自動化植物工場『テクノファーム成田』※1の操業を開始しましたので、お知らせいたします。

日本の農業は、天候不順や農業従事者の高齢化および担い手不足などによる供給不安定化が大きな課題となっております。植物工場は、これら農業の課題を解決する技術として大きなポテンシャルを持っており、その成長が期待されております。

2019年6月に着工し、このたび操業を開始したテクノファーム成田は、株式会社スプレッド（社長：稲田 信二、以下、「スプレッド」）が開発した次世代型農業生産システム『Techno Farm™』※2を導入しております。工場内で植物生長に必要な諸条件（光量、温度、湿度、風速、栄養分など）を最適に制御し、栽培過程において一切農薬は使用せず、環境負荷を極力低減させながら、日産3万株のレタスの生産を実現します。Jリーフは、自動化設備を搭載した人工光型植物工場としては国内最大規模の施設となるテクノファーム成田を通じて、安定的に高品質かつ「安全・安心」なレタスを提供してまいります。

当社グループは、長期ビジョン「nissin Vision 2030」および中期経営計画を策定しております。長期ビジョン「nissin Vision 2030」では、エネルギー企業としての強固な地位の確立をビジョンに掲げ、経営方針として事業構造改革の次なるステージ移行や石油関連事業の収益依存からの脱却、グローバル展開強化等を定めております。そのフェーズIである、2021年度からの3ヵ年を実施期間とする中期経営計画では、SDGs経営の推進を基本方針の一つとして掲げております。本事業を通じて、企業理念に基づく当社グループを取り巻く全てのステークホルダーが「ともに笑顔になる未来」を目指して、企業価値向上を推進してまいります。

以 上

※1 人工光型自動化植物工場「テクノファーム成田」の特長

- ① 栽培工程の自動化により省人化、衛生品質の向上、作業の標準化が可能
- ② 単位面積当たり生産性が高い（従来工場の2倍にあたる28段の栽培棚を設置）
- ③ 天候や土壌などの自然環境の影響を受けない
- ④ 水や肥料などの利用効率が高く省資源である
- ⑤ 虫害が発生しないため工場内で農薬を使用しない
- ⑥ I o T技術を用いて、栽培データを効率的に管理できる
- ⑦ 屋根に太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーを活用

※2 『Techno Farm™』

スプレッドの登録商標

スプレッドのノウハウと技術革新を融合して生まれた次世代型農業生産システム

<工場外観図>



<栽培室内の様子>



<操業開始式のテープカット>



< Jリーフ株式会社の概要 >

代表取締役 社長	上原 淳 (うえはら じゅん)
設立年月	2018年7月
資本金	8,000万円
所在地	千葉県山武郡芝山町小池 2700 番 72 (ENEOSテクノマテリアル成田工場敷地内)
事業内容	人工光型植物工場における野菜生産・販売
出資比率	ENEOSテクノマテリアル株式会社 68% 日新商事株式会社 32%

< 植物工場の概要 >

所在地	千葉県山武郡芝山町小池 2700 番 72 (ENEOSテクノマテリアル成田工場敷地内)
敷地面積	約 8,000 m ²
栽培品目	レタスなど葉菜類
栽培規模	日産 3 万株
操業開始	2021年6月30日

< 株式会社スプレッドの概要 >

代表取締役 社長	稲田 信二 (いなだ しんじ)
設立年月	2006年1月
資本金	8,740万円
所在地	京都府京都市下京区中堂寺栗田町 90 番地
事業内容	植物工場事業の運営・販売